

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
芸術	6 年次	音楽Ⅱ	2 単位	高校音楽Ⅱ改訂版 Music View (教育出版)

科目のねらい

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

目標および評価規準

A	音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
B	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
C	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
D	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	Unit 1 「歌唱・器楽に関わる探究学習」	履修生徒の興味・関心に基づき Unit の題材を決定し、歌唱・器楽演奏に関わる学習に取り組む。 【観点 A, B, C】
後期	Unit 2 「創作・鑑賞に関わる探究学習」	履修生徒の興味・関心に基づき Unit の題材を決定し、楽曲創作・楽曲鑑賞に関わる学習に取り組む。 【観点 A, B, D】
	Unit 3 「総合的な探究学習」	履修生徒の興味・関心に基づき Unit の題材を決定し、総合的に学習領域に関わらせた学習に取り組む。 【観点 A, B, C, D】

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
芸術	6 年次	美術	2 単位	高校生の美術 2

科目のねらい

各生徒の興味関心に応じた分野の美術的能力の総合的な向上

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
B	思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
C	観察・実験の技能	創造的な美術の表現を進めるために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。
D	知識・理解	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	<ul style="list-style-type: none"> 各生徒の興味関心により、題材数や取り組み時間等は各自で設定するものとする（ただし、最終的に公募展に出展できるレベルのものを指す） デッサン力や構図構成力などの基本的能力については毎会短時間取り組むものとする 	<ul style="list-style-type: none"> 「美術への関心・意欲・態度」は、各生徒の取り組み状況から評価する 「発想や構想の能力」は、生徒の題材への取り組みから評価する 「創造的な技能」は、生徒の題材への取り組みから評価する 「鑑賞の能力」は、題材に関するレポートから評価する
後期	<ul style="list-style-type: none"> 各生徒の興味関心により、題材数や取り組み時間等は各自で設定するものとする（ただし、最終的に公募展に出展できるレベルのものを指す） デッサン力や構図構成力などの基本的能力については毎会短時間取り組むものとする 	<ul style="list-style-type: none"> 「美術への関心・意欲・態度」は、各生徒の取り組み状況から評価する 「発想や構想の能力」は、生徒の題材への取り組みから評価する 「創造的な技能」は、生徒の題材への取り組みから評価する 「鑑賞の能力」は、題材に関するレポートから評価する